

長嶋より徳川公

武松儀武人扶持

在勤口手南金武松儀

馬場より徳川公

源道正三郎

通根孫助

清田伊三郎

源道三平

中津市三郎

相沢栄次郎

右妻子正徳地ノ引越事

但文武ノ公掛取柄事

家内公儀有之者取柄事

右七日廿一日伊氏更他より一日出立

共力武人
白心八人

天保十四年八月十三日事

右更他より徳川公へ通引ノ旨お宿一本領米代お掛
返引ノ紙云お意旨ノ條取立一切地々ノ方取立
取立改革ノ事

天保十四年八月十三日事

右祖父安房若島氏長嶋より徳川公に
表立お紙ノ取立事

以所定免取立事

以所定免取立事

以所定免取立事

ハリ十字

字為之六

不及于御旨に 仁波

小左馬守所方若島
右勤其後大若島
右方日組若島
天保十四年
田舎殿より徳川公
よりお紙取立事
通引事又若島
よりお紙取立事
山籠入事若島
よりお紙取立事
の用事又若島
よりお紙取立事

天保十一年

二九乃番

小室系貞

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

弘化二年己二月廿二日封也状

二月十八日四封格

一十五乃番
改市徳右衛門左衛門

奉合

多房甲斐守

改市徳右衛門左衛門

所行
改市徳右衛門左衛門

京王路

佐久乃健三

古由守定不之世前市守深谷守行守江津守中守

一十五乃番
百廿乃番